

公明党
永尾邦忠
議員

▼本市の生産人口における近年の推移と今後の予測について

Q 四十歳未満の若年者のフリーターとニートの人数はどれくらいか。

A 本市でのフリーターとニートの数は把握できないが、ハローワーク島原管内における、四十歳未満の若年者の有効求職者数は八百二十一人で、フルタイムでは五百八十二人、パートで二百三十九人である。

Q トライアル雇用、有期実習型訓練を実施している企業数と併用実施している企業はどれくらいか。

A ハローワーク島原によると、一月末現在で、トライアル雇用の実施企業は五十二社、有期実習型訓練は二十三年度の実施企業はないが、二十二年では四社あった。また、併用実施している企業はない。

Q 職業訓練所や高等職業訓練所がない本市にとってトライアル雇用や有期実習型訓練は有効な就業システムだと思うがどうか。

A 産業振興と雇用の安定に効果があり期待できるので、制度の周知を図りたい。

Q 新年度の雇用拡大の本市の取り組みは。

A 引き続き緊急雇用創出事業を実施し、二十二事業で百五十名の新規雇用を予定している。また、今回上程している島原市企業立促進及び雇用の創出に関する条例により、新規企業の立地と雇用の拡大につながるものと期待している。

▼キャリア教育について

Q 中学校のキャリア教育の方針と現状は。

A 望ましい勤労観、職業観を幅広くするために、各中学校では特別活動の時間を核として、一年生で将来の夢や希望及び職業調べ、二年生で働くことの意義や目的の学習及び職場体験を実施している。

Q 中学校での人間関係、働く意欲などに對してどのように取り組んでいるのか。

A 体験活動をできるだけたくさん学校教育の中に取り入れることで、人間関係力はぐくまれていくと考えている。

【その他の質問項目】

◇これまでの一般質問で提案してきた内容の進捗状況について

◇施政方針と、市長二期目出馬について

青 鞆
松坂昌應
議員

▼大手広場に庁舎建設を

Q 一般の全員協議会で議会に示された最新の庁舎建てかえ案では、現在地とその南側市道及び大手川沿いの民有地を合わせて、四千五百平方メートルで予定し、大手広場は「今後利用を検討」として、今回は扱わないことを宣言している。県道つけかえや大手広場も含めた検討をお願いしたい。

A 大手広場の利用は、市民の利便性を考慮し、バリアフリー化対策などを含めてプロポーザルのなかで検討していきたい。また、大手広場の整備にはこれまでに十二億五千万円強の県、市費が投じられている。県道をつけかえる場合、多額の費用を要すること等を考えるといかがなものかと思う。

Q 大手広場の整備に要した十二億五千万円の内、平成十二年から十七年に行われた県道拡幅に要したのは十一億四千万円で、その内約七億円が用地補償費だったと県で確認をしている。また、県道のつけかえ自体は約七千万円強で可能であると確認しており、都市計画の変更は平成二十一年度に六カ月半で行った実績がある。

提案として、まず県道を現庁舎南側を迂回させて直進で国道三百五十一号につなぎ、新庁舎を大手広場の山側に建設し、その後現庁舎を取り壊す手順を踏めば、二年間の分散庁舎による市民の不便や混乱はなくてすむのではないかと。

A 都市計画の変更は当時と違い、地区計画を定め、それが認可された後に計画変更手続きを進めなければならないことになっており、約一年の期間がかかる。県道のつけかえ案については、提案された金額ではいかがなものかと思う。県道の交差点の問題などの交通事情を考えると、むしろ問題点が多いというふうに認識している。

▼歩行者に便利な中心市街地を

Q エレナ一番街店の撤退について、高齢者などの車のない消費者は困っていると思うが、どのように考えているのか。

A 近隣住民を初め、生活用品の購入などで利用されていた多くの市民の方々が不便を感じたり、エレナ一番街店から商店街の来街者の流れ込みに大きな影響を与えていると考えている。

【その他の質問項目】

◇市長はなぜ議会の委員会に出席しないのか